

刊夕 日拾月貳拾



定額一冊五錢 一ヶ月五拾錢 三ヶ月一圓二角 半年二圓 一年三圓
 廣告料五錢 十二字一圓 一行五拾錢
 日曜祭日の翌日休刊
 發行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

簡易洋食の智識

平會館調理部
今成 鐵一郎

『オムレット』これは玉子料理の代表的洋食で日本風に云ふならば、半熟玉子焼きとでも云ふべき料理で

調理法は極めて簡単な割合に、中々技術を要しまして紙上にては一寸説明は困難ですが順序だけを申述べて置きます。

『調理』まず一人前に付鶏卵二個、内至三個位を并に割り、玉葱のみじん切りにしたもの、茶サジ一杯程を加へ鹽、胡椒にて調味(此場合おろしチーズを少量加へれば一層上等です)してざつと箸でかきまぜて置きます。(尚此の中へ好みによ

ダイナマイトは瑞典の化學者ノーベル一八六四年に硝化グリセリンを用ひ實用的爆發薬を製すノーベル賞金の創始者

り肉類、又は野菜などを入れる場合は、どこ迄も半熟に仕上げるのですから、其のまま食用に供せられるもの以外は全部一旦火を通して

通ひます)次に小さいフライパン(フライパンは十八番位が適當です、フライパンは番號の大きくなるに従つて大きくなります)にバター茶サジ一杯程入れバターが焦げない程度にフライパンをよく焼いて、(注意)

…立献の日明…

- 【朝】味噌汁 小付 つま芋 やきのり
- 【晝】佃煮 豚肉つけやき 大根あちやき
- 【晚】鱈汁

フライパンの焼きが足りないと、材料がくっついてよく焼けません。又餘り脂を焼き過ぎても肝心の玉子がこげてしまつて、コッパなものは不味いオムレットが出来上つてしまひます、これは熟練次第のもので

から、せいゝ、數を焼いて研究して下さい)フライパンが充分焼けたら材料を流し込み箸で手早やくかきまぜて半分位凝つた所で手前の方から箸で巻き込んで仕上げ手早やく皿にうつしてパセリ等をあしらつて供します。

【師 走】自由ですが前述の通り半熟で召上れる様に仕上げるので、かならず一旦加熱してから用ひます。

飯村 閑舟
 なんだか忙しい町あるさ
 浮いて浮かれて
 ウインドを
 覗けばほしい
 品のかず

せまる師走に
 そわくと
 コートの裏に
 鍋さげて
 町かど曲れば
 旗なびく
 ×
 なんだか忙しい
 胸のうち
 暮れて苦になる
 クツシヨンに
 とつぷり埋れて
 冬籠り

忘年会 新年會

萬事御希望に副ふやう勉強して御奉仕致します
 御通知下されば當方より早速参上如何やうにも御相談に應じます

尚餘興舞臺が出来ました
 平町紺屋町

住吉屋本店
 電話一五九番

閉院挨拶

私儀今回家事上の都合に依り新潟縣新發田町に歸郷致すことに相成り候に、相成り深く御禮申上候
 先は略式ながら紙上にて御挨拶申上候
 平 鐵治 町七
 敬 具

中村 文一

手輕な
 忘年会や新年會には
 是非御利用下さい
 時節柄料理に 御酒に
 萬事御希望に副ふやう勉強して御奉仕する
 と共に如何様にも出張御相談に應じます

平二警察署通り

魚清食堂

電話六八三三

勝手働き女中さん 出前屋さん
 ◎至急入用

全能式電線療法
 ラヂウム放射透治療
 法 紫線療法
 本療法は異なる八種の電流を使用し心身共にいふべからざる爽快を覺ゆる裡に最高の治療及増進的効果を得る事が出来るのであります

伊坂電療院

平町中町二〇

國は日本、凍魚はヒノマル
 本日産水特約發賣元
 平製氷株式會社
 電話二八三〇番
 平町代理店 印刷魚問屋
 電話一五八二番

吉田眼科病院

平紺屋町電話六八三番
 醫學士 吉田久雄

貸切の御用命は

せひ、三井自動車部へ!!!

電話六八五番

◎乗合は好間、合戸、澤渡方面行

燃え盛る

ストーブの傍ら

景氣の好いボーナス前奏曲 流石は炭礦

いま好況の絶頂を行く常磐炭田のボーナス景氣前奏曲——黒ダイヤ王国の常磐炭田は軍需インフレ景氣の潮に乗って俄然昨年末から好況時代に入り磐城、入山、古河の

三大炭礦は東北の野に満つる凶作哀話をよそにこゝばかりは空前の活況を見せ温かき初春を約束されてゐる樂天地だけに師走も押詰つた昨今赤々と燃え盛るストーブを圍んでボーナス談に華を咲かせてゐる

昨年末は

磐城職員二百五十名に平均二十五割▲入山職員百四十名に平均二十割▲古河職員七十名に十八割のボーナスを支給した外磐炭四千名、入山二千三百名古河一千名の全山坑夫にそれ

總花的に 賞與を支給

磐城だけでも八萬圓を突破する豪勢であつたが今年上半期の出炭高は磐城四十三萬七千噸、入山二十二萬噸、古河十一萬五千噸で

今下半年期は更に増加する豫想で三炭礦とも一割内外の配當を論じるといふ黄金時代の絶頂に踊る今年度のボーナスは

商業都市 平町に多大の霑ほひを與へるものと期待されてゐる

小學教員 ボーナス

大体五割平均

昨年末より遙かに高額なことは確實で磐城の平均三十割を筆頭に總額二十萬圓の巨額に達するものと噂されてゐる、何せ「二十萬圓のボーナス」は

漁村不況対策に

水産加工品を奨励

昨日石城水産會總會で決定

石城水産會總會は九日午前十時から小名濱町水産試験場で開催、八年度決算、十年年度豫算を附議決定、役員改選の結果、會長に中山水産試験場長、副會長に太清左工門氏、幹事に水野政次郎氏外五名、縣代議員に

高麗橋を中心として

(32)

眞木翁の懷古事談

留書が詳かに語る

平城下の市街戦!

既に述べた如く、時代は變轉した、平藩の進むべきは勤王一途の外あるべからず、且又藩主は上國に直る際(藩主安藤信勇京都行中)として、父子東西に別れて相戦ふは、探るべき道に非ずとの父の意見は、藩論の顧るところとならず、然して後軍事指揮の重任を辭した

小野普平氏外十一名を擧げた、尙明年度新事業として縣外漁業施設の調査視察を行ひ當業界の改善に努め又漁村不況対策として水産加工品の製造に特に力を注ぐことになり明年度には濱三郡水産加工品評會を關催することに決定した

昨年比し 六萬の圓黒字

小名濱魚市場の水揚高 豫想外の大漁景氣に活況

小名濱町魚市場の本年度水揚げ高は十日現在で百一十一萬圓に達し昨年の百五圓に較べ六萬圓の激増したが年内には更に百二十萬圓以上となる見込みで同演はこの豫想外の大漁景氣の歡喜に浸つてゐる

平第二優勝

郡下教員籠球

平卓球協會主催第三回卓球リーグ戦宮俱樂部對平稅務署の試合は八日平第三小學校で舉行三對一で宮俱樂部快勝したが電友と宮同率のため更に優勝者決定戦を舉行三對一で電友捷つたかくて去月二十三日から開始した同協會リーグ戦は左の如き順位で電力優勝した

電友優勝

平卓球協會 リーグ戦終る

と存、同勢相募候得共、參り候者無御座、石得止事壹人に而驅出候、仙藩二十人斗、城坂下込參り申候、内兩人私に相從ひ參り候、漆原殿(參政漆原市郎左衛門)不明御門(平本町通と田町の中間松月の處)江御出張相成候、不明御門より吉野源三郎、中村常三郎相從ひ參り候、五町目に多人數屯いたし候へ共、敵味方不明に付手振仕相進申候、五町目入口迄參り、初而御家の御事相譯り安心仕候、五町目辰町邊江米藩、御家御人數、家毎に一人位づゝ相備、發

産業組合 石城産業記帳講習 組合部會では十四日午前九時から丸友ホールに郡下産業組合職員を招き記帳事務の講習會を開くが講師は縣の佐久間農林主事補である

初貯藏高

二名四千石! 平米檢で貯藏美談調査

昨年度より實施された叔の貯藏は平穀物検査所でも大馬力で奨励した結果來月上旬貯藏解除となつたものは實に郡下四十三ヶ町村に百六十二組合其の組合員七百二名の多數に及び貯藏高は二萬四千九百五十五石と云ふ好成绩を擧げ地方米價引上にも非常な効果を見せたので同支所では叔貯藏に關する美談實例等を調査する事になつた

砲有之候、永野宗助殿御出張有之候、何分追々延焼相成候間、如何可仕と相談仕候處、吉江郷助裏切に廻り候而は如何と申候間、至極宜敷と相答直様釜屋裏口より、菩提院町(南町)瓦屋江參り、發砲相始申候、此時道案内五町目與十新川町清次郎自進相勤申候吉江郷助は勿論、太田九郎、清水鎗三郎等勇進仕候勢頭頼母敷存候、此處に而は埒明き不申候間直に新川町江可討入と太神宮横町より先登飛込申候、清次郎等達而差止候得共相進、鯨音相發、五町目口を

銀幕の王者

鈴木傳明氏が

突然平町に現る

母堂の葬儀執行の爲め

本邦映畫界の輝ける存在である鈴木傳明氏が突然コソリ來平した——同氏は人も知る本郡泉村出身者で十七才の少年時代から映畫界に身を投じ日活、松竹、不二映畫等を経て現在新設第一映畫社の同人である同氏の主演映畫は枚舉に遑まないが牛原虚彦監督とのコンビになる「彼と東京」以下「彼」三部曲「真珠夫人」若者よ何故泣くか」鈴木重吉監督作品「榮冠涙あり」等がその代表作品として挙げられやう、正に同氏こそは郷土の生んだスターとして我等の誇りである

住吉屋本店に

二泊して

けふ歸京

第一映畫社スター鈴木傳明氏の來平は先般逝去された母堂の本葬執行のためであつて一昨八日午後七時三十分

今後は毎年

一回宛歸郷

往訪の記者と

快し一問一答

今後はトーカーに雄飛

【別項】九日朝住吉屋本店に投宿中の鈴木傳明氏は忽

忙の折にも拘らず訪問した記者を快く引見したが今後

は墓參の爲め毎年一回位宛來郡する積りで來夏は小名濱に避暑に來たいと語つてゐた、銀幕から受ける印象とは反對に非常に親しみ深い人であつた、記者との一問一答左の如くである

問「先づ『建設の人々』に就ての感想は」
答「第一回作品であり伊藤監督、月田一郎等蒲田時代の僕の知己が多かつたので『榮冠涙あり』の時と同様な感激をもつて製作に當つたので、東京では三週連続の好成績を収めた」

問「今後こうした商品映畫ばかり作るか」
答「實は第一回作品としては藝術映畫を製作すべく『建設の人々』の製作を反對したが大事をとつて遂に多數決で同映畫をついた、今後第一映畫社の資本確立次第藝術映畫も製作したいと思つてゐる」

問「將來舞臺に立つ考へはあるか」
答「第一映畫社の契約は年



今夜も明日も北西の風曇

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 特選童謡 JOK 唱歌隊
- 後六、二五 基礎英語講座 (二六) 岡倉由三郎
- 後七、三〇 農村青年の夕田口機
- 後八、一〇 管絃樂 日本放送交響樂團
- 後八、四〇 尺八俗曲 加藤水
- 後八、五〇 歌謡曲 美ら奴
- 後九、〇五 琵琶(九) 連城吉水錦翁

三本製作だから餘暇には他社映畫にも出演する積りだが舞臺に立ちたいとは思つてゐない

問「洋畫は見るか」
答「勉強になるので大抵缺かさず検閲前に見ることにしてゐる」

問「次回作品は」
答「伊藤大輔監督、酒井宏撮影の『薩摩隼人』で明後日から京都の撮影所で

新團長は大嶺氏

平青年團が満場一致で決定

若松君が一等

既報一平青年團臨時總會は八日午後七時よりマルトモホールで開催、團長柴田徳二氏辭任による後任者改選を行つた結果各分團長の推薦に依り萬場一致で現修養部長大嶺庫氏昇任と決定、同氏の新任挨拶あつて篠山廉氏を顧問に推し、同顧問の時局に關する講演等あり九時閉會直ちに新役員の觀迎會を催したが出席者百餘名あり、頗る盛會であつた尚修養部長には山崎忠兵衛氏が就任した

後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組情報

明日の部

- 前七、〇一 基礎獨語講座 (三八) 岡本修助
- 前七、三〇 聖典講義(九) 長井真琴
- 前一〇、三〇 家計の立て方 氏家壽子
- 後〇、〇五 落語 二重放送 桂小文治
- 後二、〇〇 聯珠講座「聯珠實戰上達の道」萬柏井
- 後六、〇〇 子供の時間

お話「昔の造幣と今の造幣局」平井泰太郎

- 後六、二五 英語講座(七ノ一) 本多平八郎
- 後七、三〇 講演「歐米のラヂオ視察して」丸毛登
- 後八、〇〇 天理教御神樂歌 天理教御神樂合唱團
- 後八、一五 修驗道法螺貝 結城聖眞
- 後八、三〇 忠臣藏 週間舞臺劇 澤村田之助 其他

資金借入には 縣で保證せよ

凶作打角策として

本郡産業組合から陳情

郡下産業組合長會は七日マルトモホールで開き平外十九組長職員等四十餘名が出席種々凶作對策に就いて協議した結果各組合が救済に要する資金を縣聯合會より借入する場合は從來の條件を改め保證物件を必要とせず縣が保證して資金の供給を受けるのでなければ資力薄弱な組合は到底救済し得ずとなし即日伊藤本縣知事に對し陳情書を提出したが近く是が實現を期して猛運動を起す筈である

關彰氏の美舉 平町一丁目油問屋關彰氏は歳末に際し恒例により貧民救済資金として九日金二十圓を平署人事相談所に寄附した

道路取締執行 平署では年末も押詰つたので今日全署員を總動員して平町全町の交通取締りを執行したがこの日横山署長は馬上豊かに英姿颯爽として町内を巡視した

飯野農産品評 飯野農産品評會は十五日から四日間同村小學校で開かれるが出品三百餘点に達する見込み、郡農會青山技手出張審査する

輕機關銃 三臺を購入 内郷村在郷軍人分會では此程輕機關銃三臺を購入した



明治太平記

(兼無断録)

(作) 寺島 証史

(畫) 野口 紅涯

第八回

ザンギリ頭 (八)

「うむ……大志賀君、貴公大村を狙つてをるな、だが益次郎を狙ふのは貴公よりもほかに敵任者がをる」

大志賀は、玄關先で思はず大聲を立てた。

「静にしまへ」

副島はもいちどギョロリ四邊に眼を放つて、いつさう低聲になり

「大村を憎むのは、旗本八萬騎や、璋義隊の殘黨のみではない、薩摩準人、さらには同じ長州の仲間にも多いのぢや」

「長州の士にも？」

「おうれ、大村は兵部大輔の大任に就いた、ついで全國皆兵主義を唱へだした。これがみな守舊論者にはおさまらない、武士は四民の上立つ者といふて、肩で

風を切つて歩きたい、いはゆる武家天下萬能論者はな

商人、百姓でも何でも之に武器を興へて一國の防禦に當らせようといふのだから

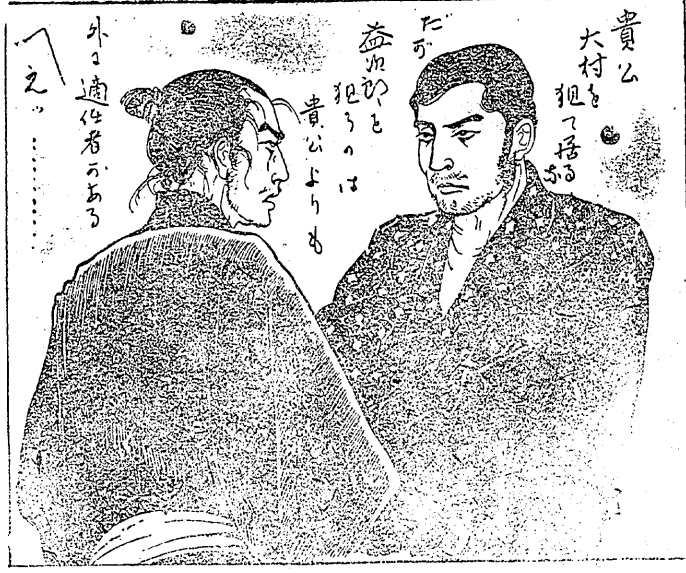
大村の皆兵論を憎むのは當然、しかし、大村はのう西郷どんのやうに四圍を顧慮して事をすゝめる男で、

いので、士籍の不平不満に

ける、いやはや、大村の身體も風前の燈火なんぢや」

は頓着なく、近く徴兵令を施かうとさへしてをる。このことが外部へ洩れたからたまらぬわい、大村を此世に生けておいては陸軍部内における長州派の勢力がどれほど強くなるかしれんといふやうな考へも混つて、

「……」
「それにまた、おぬしまでが大村を付狙ふとは……」
かし、大志賀、大村が保守派の手に暗殺されたからとて、それで全國皆兵の論が立消えとなるのではないぞ一人の大村を殺すのはいと易いこぢやが、時の力に抗することは不可能なんぢや時勢をみい」



大志賀 大村 貴公 大志賀 大村 貴公 大志賀 大村 貴公

薩派の守舊論者はいよ／＼大村暗殺の腹をきめてゐるといふ次第また同じ長州派にも、進歩保守の二派が暗闘をつゞけてをる矢先、進歩黨の先輩大村が徴兵令を發表しようとするのだから保守派がじつとしてはをらぬ。そのたゞならぬ動靜をみて、薩派の奴等が煽りつ

で一口乗らうとすきを狙つてをるといふ現状、日本が武家天下の舊態を改めぬとせば、やがては彼等烈強のために八裂きにされるは心定、そこでしぜん舊態保守をすて、烈強と對等の勢力を張らんとする日本民族新生の氣運が生じてくる、この力、このたゞましい時

の力は何もの、障礙をもつき破つて進展するぢやらう大村が上野松坂屋に陣取つて山内の璋義隊を一氣に踏みじつたのもけつして大村の非凡の軍略ではなくや

洋食 喫茶 會 宴

エビフライ ピフテキ

コンパル

平塚前新道通り

LTE-666

毎度有難うございます

一冊の代金で 御希望通りな

五冊の雑誌が 自由に讀める

川崎巡回文庫

電六三〇番

(申込次第規則書進呈)

シホはリスク

大衆を呼びかける 景品附大特賣

ホシチエンスストア平支部

ホシチエンスストア一同

東京星製藥會社と御指定を乞ふ

本品の偽物を賣る藥店がありません

定價 二十錢 五十錢 壹圓 貳圓

一ホシ胃腸藥金五十錢お買上げ毎に景品券一枚を差上げます

二賣出期日 昭和九年十二月五日より昭和十年一月十五日まで

三抽籤期日 昭和十年二月十一日 本社に於て厳正に行ふ

四抽籤券 一萬枚を以て一組とし各組の番號は共通と致します

五景品 壹萬枚に對し

壹等 拾圓也 (本社製品中) 五名

貳等 五圓也 (同) 一〇名

參等 貳圓也 (同) 二〇名

四等 壹圓也 (同) 五〇名

五等 五拾錢也 (同) 一〇〇名

六等 新製品マールクロ小瓶一個宛全部呈上

六景品はホシ支部並に、ホシチエンスストアにて抽籤券引換に御渡します

主催 星製藥株式會社



シホ胃腸藥